

新聞記者が「出前授業」

新聞の読み方を学んだ



新聞記者の仕事について学ぶ平野中の生徒たち

正しい情報を伝える努力

西日本新聞

発行所

西日本新聞社

福岡市中央区天神一丁目
4番1号(〒810-8721)
©西日本新聞社

平野中学校
出前授業記念号2

2月27日(木)

こどもふれあい本部

TEL:092(711)5558

<http://kodomo.nishinippon.co.jp>

福岡県大野城市の平野中学校（日下部達矢校長）で27日、社会人講話が行われ、弁護士やドッグトレーナーなど16人が訪れた。新聞記者の仕事は、西日本新聞社こどもふれあい本部の中野慧記者が務め、1年生20人が受講した。

まず、全員に配られた朝刊を使って、1面から読み方を説明。見出しは、記事の内容を10字程度でまとめていることや、こども向

け紙面もあることを話した。西日本新聞は、1877年に起きた西南戦争の戦況を人々に知らせるために発行された筑紫新聞が源流だ。現在は九州に約60総支局、米国や韓国などに駐在する記者が九州に関わるニュースを記事として発信している。中野記者は自身が新聞記者になった理由を話した後、1本の記事ができるまでの流れを説明。「記者やデスクなど何人もの人が内容をチェックして、正しい情報を伝える努力をしている」と語った。

男子生徒は「取材した記事に反響があるなど、新聞記者のやりがいを知った。将来の職業の参考にしたい」と話した。